

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、18～23℃台を示し、やや低め～平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――シケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の4.4倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の33%（前年並み）。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週の2.2倍（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり55kgの水揚げで、前週の1.7倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり909kgの水揚げで、前週の17%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり89kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり869kgの水揚げで、前週の15%（前年を上回った）。
- 定置網――五島有川地区では、カンパチなどが1日1統当たり174kgの水揚げ。五島魚目地区では、カンパチなどが1日1統当たり46kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり187kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり288kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキなどが1日当たり169kgの水揚げで、前週の59%（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり15kgの水揚げで前週の1.4倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（5/25～5/31の7日間）沖合イカ釣（船凍船）は切揚休漁。赤イカは北太平洋で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第3-14号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果・第3-15号 長崎県周辺海域の海面水温（6月号）」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>